レインボーサークル

2018 年度
一般社団法人
はっぴーれいんぼー報告

【はっぴーれいんぼー】

プロジェクトとしては、月 1 回のはっぴーれいんぼー例会、三好正人さんによる「治療教育　」の連続講座、「魂の保護を求める子どもたち」読書会、バザー出店など多彩な展開となりました。

はっぴーれいんぼー例会は昨年に引き続き、ライアーコンサート、オイリュトミー、羊毛や染めなどの手仕事、調理、りんごまつり、粘土など毎回、さまざまな講師により工夫を重ねた集いを開催しました。会を重ねるごとに参加者とケアスタッフの交流も深まり、参加者の緊張がゆるんで、よい表情になってくるのを実感でき、嬉しい限りでした。

三好正人さんによる「治療教育講座」連続講座は 7，9，11，12 月の 4 回はシュタイナー

の「治療教育講義」をベースに治療教育の基本的な視点について講義があり、1，2，3 月および 2019 年度の 4 月にまたがって、チャイルドスタディの実際について、具体的な症例をみていく内容になっています。チャイルドスタディは一通りの概念を勉強してもそれをさらに実際に使えるようになるには自分の中での積み上げが必要なので、みなさん、苦労しつつもたいへん熱心に学んでおられます。チャイルドスタディなくしては生活介護施設にいきいきとした魂を吹き込むことはできないので、私たちスタッフもさらに頑張って学ばないといけません。

「魂の保護を求める子どもたち」読書会はスタッフを中心とした小規模な勉強会でしたが、スペシャルニーズの子どもとともに生きる親の思いなどに直接、触れる機会でもあり、盛況でした。

活動をささえる資金集めの一環として、生活介護施設の開所後のことも見据えて、手仕事作品をバザーに出す試みもしました。

そしてまた 2018 年 6 月に一般社団法人はっぴーれいんぼーを設立し、生活介護施設の立ち上げの第一歩を踏み出しました。スタッフいずれも事業に不慣れなこともあり、2019 年 12 月に生活介護と 1 対 1 の療育を行う児童発達支援&放課後児童デイサービスの共生型施設を立ち上げることが可能となり、大東市泉町のテナント物件を借り、シュタイナー建築家の岩橋亜希菜さんに改修の設計監理を依頼し、空間を作り上げるべく、改修作業へ歩みを進めました。

そこに関わる一人ひとりのスタッフの思いをくみ取り、そこで過ごすスペシャルニーズの方々に癒やしをもたらす空間が表れるために膨大な労力と時間をかけて岩橋亜希菜さんが東京から通ってきてくださっています。その分、設計・改築に要する費用も一般の生活介護施設と比べものにならないほどかさむのですが、建築も人間の物質体に治癒をもたらす治療的手段であるというアントロポゾフィー的な視点を実践し、スペシャルニーズの方々との共生のあり方を世に問う場としていくために何としても実現していきたいとスタッフ一同、奮戦中です。

以上